



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱あおば			
保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～	2026年 2月 7日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	33
従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		～	2026年 2月 13日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日			

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援と見守り	子どものその日の状態をスタッフが把握、周知して見守り・支援を行っている。子どもの特性を理解して声掛け、対応を行っている。	保護者・学校・キッズクラブなどと情報交換を密に行い、その日の子どもの状況を確認する。アセスメントシートを熟知する。
2	職員間のコミュニケーション	午前・午後に職員ミーティングを行い、その日に利用する子どもの状況確認をする。業務終了後、気づいたこと・保護者からの伝言を報告する。	突発的に起こった事案を時間差無しで共有・周知を行う。その日に解決できる案件は、その日のうちに早急に対応する。
3	個々に沿った療育の提示	子どもの発達段階を観察・把握して療育の課題を提示。子どもの反応を観察しながら、方向転換など臨機応変にスケジュールをたてる。	子どもの興味関心のあるもの、事柄を素早くキャッチして課題を提示する。事前準備をスタッフ間で確認しあう。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所面積の狭さ	利用者のニーズが増えて、曜日ごとに定員に満たしている。利用者の成長と共に空間の確保が要求されている。	事業所移転を視野に物件を探す。空いている部屋に移動を促す。
2	職員の人員不足	加配を要する利用者の見守りのため、他の子どもへの配慮が不足する。送迎箇所の増加で添乗人員が不足する。	職員求人依頼で人員を増やす。
3	広範囲での送迎	送迎箇所の増加で学校迎えが時間どおりに行くことが難しい。帰りの送り時間を意識して送迎順を工夫している。	事前に学校・キッズクラブに連絡を入れて待機をお願いする。